



戦後 80 年 日本の様々な歩みから

映像で学ぼう!!

第2土曜日 10:00 ～ ・ 13:30 ～

第3水曜日 13:30 ～

会場

富山県教育文化会館

5階ハイビジョン学習室

5月

10日(土)

21日(水)

上映時間：87分

【舞台は動物園】

- プロフェッショナル仕事の流儀
「動物園飼育員 細田孝久の仕事」
- 天王寺おばあちゃんゾウ 春子 最後の夏

6月

14日(土)

18日(水)

上映時間：106分

【ドキュメンタリー映画】

- 劇場版 ナオト、いまもひとりっきり

7月

12日(土)

16日(水)

上映時間：87分

【手仕事・技】

- 極める匠の世界 陶芸
「現代の鬼師（屋根瓦製作 小林章男）」
- 県民カレッジテレビ放送講座
技に生きる～富山の手仕事～
「蠟燭と提灯と」
- 紬織 村上良子のわざ

8月

9日(土)

20日(水)

上映時間：94分

【戦時・戦後】

- 映像 昭和の歴史
「廃墟のなかから（昭和 20 年～ 24 年）」
- 星は見ている
- ビジュアル日本経営史 日本の企業家群像
「戦後型企業家と高度成長
ソニー 井深大・盛田昭夫／ホンダ 本田宗一郎・藤沢武夫」

- 開場は上映時間の 30 分前です。
- 作品の詳細、ご来場の皆さまへのお願いは裏面をご覧ください。

【問合わせ先】

富山県映像センター（富山県民生涯学習カレッジ 映像センター課）

〒930-0096 富山市舟橋北町 7-1（富山県教育文化会館3階）

TEL：076-441-8455（休所日：火曜日、祝日・振替休日の翌日）

●天候不良などにより中止になった場合は、映像センターホームページ
または公式 X でお知らせします。

5月～8月

2025

わくわく
シアター

入場
無料



富山県映像センター
ホームページ

5月

10日(土)
21日(水)

■プロフェッショナル仕事の流儀「動物園飼育員 細田孝久の仕事」

動物園飼育員・細田孝久。並外れた飼育の技術で、海外からも注目を集める。飼育員・細田の真骨頂、それは動物の異変を察知する確かな目だ。向き合うのは、物言わぬ動物たち。わずかなミスが、命に関わる。出産直後のアルマジロの赤ちゃんに問題発生。残された時間は、24時間。動物のすべてを預かる飼育員の仕事が見られる。(44分・2008年)

■天王寺おばあちゃんゾウ 春子 最後の夏

国内2番目の高齢アジアゾウ・春子は、1950年、まだ戦争の爪痕が残る中、タイから大阪の天王寺動物園に来園。2歳だった春子は、熱烈な歓迎を受け、以来60年以上、大阪の人々に愛され続けた。しかし、2013年の夏、炎天下の運動場に出るのを嫌がり始めるなど、飼育員にとって初めての事態が相次ぐ。そして2014年、春から夏へと季節が変わる中、春子に大きな変化が。年老いたゾウと飼育員の最後の日々を追ったドキュメンタリー。(43分・2017年)

6月

14日(土)
18日(水)

■劇場版 ナオト、いまでもひとりっさり

原発事故による全町避難で無人地帯となった福島県富岡町に、いまでも一人で暮らすナオト。原発事故後、人の人生を金で解決しようとする不条理、命を簡単に“処分”しようとする理不尽に納得できず、残った動物たちを世話しはじめた。生きること、生かし続けること“ひとりでここに残ること”を決めた男の10年のドキュメンタリー。2015年に公開された「ナオトひとりっさり」の続編。(106分・2023年)

7月

12日(土)
16日(水)

■極める匠の世界 陶芸「現代の鬼師(屋根瓦製作 小林章男)」

日本の伝統美を創造する人間国宝・重要文化財保持者の技と心を紹介。
屋根の先を飾る鬼瓦は、日本人の創造性を象徴的に映し出してきた。時に豪壮に、時に優美に、百鬼百様の表情に人々の祈りと美の心が込められている。その鬼瓦を作る小林章男の技を見る。(26分・1988年)

■県民カレッジテレビ放送講座 技に生きる～富山の手仕事～「蠟燭と提灯と」

温かく柔らかな光をともし蠟燭。高岡市旅籠町で蠟燭を昔ながらの製法で作っている槻尾実さん。祭りの夜を晴れやかに飾る提灯。八尾町で提灯を作り続けている、坂本善治さん。職人たちの巧みな技を紹介するとともに、職人たちの作る〈用具〉を通して、どのような暮らしが営まれてきたのかを探っていく。(29分・2000年)



■絨織 村上良子のわざ

平成28年「絨織」の分野で国の重要無形文化財保持者に認定された村上良子。新作「絨織着物 月あかり」の制作工程を追う。秋の月を題材に、意匠構想から多様な植物を原料とした糸染め、製織、仮縫いに至るまで、全て一人で行う村上の手仕事を記録。(32分・2024年)



8月

9日(土)
20日(水)

■映像 昭和の歴史「廃墟のなから(昭和20年～24年)」

激動の時代、昭和。昭和20年～24年に起こった出来事を貴重な映像とともに振り返る。

●焼野ヶ原の東京●天皇の人間宣言●戦後第一回の総選挙と吉田内閣など(25分)

(当時の映像のため、見づらい部分がございます)

■星は見ている

『星は見ている―全滅した広島一中一年生・父母の手記集』の最後の一編、平和の大切さを伝える母親の手記を、紺野美沙子さんの朗読と小川典監督による悲しくも美しいオリジナル映像で伝える。(39分・2022年)



■ビジュアル日本経営史 日本の企業家群像

「戦後型企業家と高度成長 ソニー 井深大・盛田昭夫／ホンダ 本田宗一郎・藤沢武夫」

戦後日本の奇跡的な経済の復興と、成長を狙った主役は民間企業であり、そこでは数多くの有能な経営者が活躍した。中小企業から身を起し、大企業に育て上げたオーナー経営者である、ソニーの井深大と盛田昭夫、ホンダの本田宗一郎と藤沢武夫を紹介。(30分・2006年)



※上映作品は都合により変更する場合があります。

ご来場の皆様へのお願い

- 会場内での食事は禁止です。水分補給は可能です。
ただし、蓋つきの飲み物(水筒、ペットボトルなど)に限ります。
- 上映中も換気扇を回し、空気を循環させます。(入口の扉を開放する場合があります)
- 会場の収容人数(約60名)を超える場合は、入場制限させていただきます。
- 駐車場には限りがあります。近隣の有料駐車場をご利用ください。(割引券などはありません)
- 天候不良などにより中止になった場合は、映像センターホームページまたは公式Xでお知らせします。

映像センター公式X



お問い合わせ

富山県映像センター(富山県生涯学習カレッジ 映像センター課)

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1(富山県教育文化会館3階)

TEL 076-441-8455 <https://www.tkc.pref.toyama.jp/eizou/>

